

大阪市で起こる自然災害について



《地震編》

日本は地震大国と言われるほど非常に多く地震が発生します。大阪市に大きな被害をもたらす地震について知っておきましょう。

①上町断層帯地震

上町断層帯地震とは？

阿倍野区と西成区の界には上町断層があり、この断層がズレたときに発生する地震が上町断層帯地震です。この地震で震度6強の揺れが想定され、激しい縦揺れが約数十秒間続きます。



②南海トラフを震源とした地震

南海トラフ地震とは？

この地震は90年～150年の周期で発生しており、東海・東南海・南海地震が同時に発生したときには、西成区では震度6弱の揺れが想定されており、大きな横揺れが約3分程度続きます。



この地震の最大の特徴は津波が発生する可能性があり、発生した場合は西成区の67%が浸水想定です。 ※津波の浸水想定は裏面のマップに記載されています

地震による揺れと被害

震度5弱	・大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる ・棚にある物が落ちることがある
震度5強	・物につかまらないうちと歩くことが難しい ・固定していない家具が倒れることがある
震度6弱	・立っていることが困難になる ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある
震度6強	・はわないと動くことができない、飛ばされることもある ・耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる
震度7	・耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある ・耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる

災害に対して備えておきましょう

◎非常持ち出し品

基本品目 ※大人2人分の目安			
◆非常持ち出し袋	1個	◆乾パン(110g)	2個
◆飲料水(500ml)	6本	◆懐中電灯	2個
◆携帯ラジオ	1台	◆ライター	2個
◆ナイフ	1本	◆軍手	2組
◆ロープ(5m～)	1本	◆ブランケット	2枚
◆携帯用トイレ	2枚～	◆タオル	4枚～
◆ポリ袋	10枚	◆トイレ用ペーパー	1ロール
◆ウェットティッシュ	2個	◆生理用品	適当量
◆ガムテープ	1個	◆マジック(油性)	1本
◆レジャーシート	1枚	◆救急袋※	1枚

※救急袋の中身 体温計 マスク(適当量) 消毒液(1本) 脱脂綿(適当量) ガーゼ(2枚) 絆創膏(1箱) 包帯(2巻) 三角巾(2枚) 常備薬・持病薬 etc...

個人や家庭の事情にあわせ備えを検討するもの

必需品・貴重品	赤ちゃん用品	高齢者用品
◆車や家の鍵 ◆眼鏡・コンタクト 以下コピーで準備 ◆免許証 ◆パスポート ◆健康保健証 ◆預金通帳	◆粉ミルク ◆哺乳瓶 ◆紙おむつ ◆離乳食 ◆ベビーカー ◆母子手帳 ◆バスタオル ◆玩具 ◆着替え	◆おむつ ◆眼鏡 ◆看護用品 ◆持病薬



大きな地震が発生したら冷静に対応するのは難しいです。地震が起きても「あわてず、落ち着いて」行動するために行動パターンを覚えましょう。

地震発生 津波発生

1～5分

5～10分

命を守る

- ◎落ち着いて身を守る
- ◎ドアを開けて逃げ道をつくる

家族を守る

- ◎家族の安全を確認
- ◎火元を確認
- ◎足を怪我しないため、靴・スリッパを履く
- ◎必要な物を手元に置き、余震に注意する！

避難準備

- ◎電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める
- ◎家が倒壊する恐れがあれば避難場所に避難する

津波が発生した場合の行動



津波の特徴

- 速くて力が大きい
- 繰り返しやってくる
- 津波は川をさかのぼる
- 引き波があるとは限らない

津波から身を守る

- ◎地震の揺れの程度で自己判断しない！
- ◎海岸や河川から離れる！
- ◎避難に車は使わない！
- ◎「より早く」、「より高く」逃げましょう！

大阪市への津波到達予想時間は約110分です
落ち着いて行動しましょう！

大阪市で起こる自然災害について



《風水害編》

大きな被害をもたらす台風や集中豪雨。台風は、7月から10月にかけて日本に接近・上陸するものが多く、強い風とともに広い範囲で長時間にわたって大雨を降らせてます。

普段から備えておく

- ◎自分の住んでいる場所がどの程度浸水するおそれがあるのか把握しましょう
- ◎周りより低い場所など危険個所を把握しましょう
- ◎避難する場所を事前に決めておき、避難ルートを確認しておきましょう

西成区ホームページにマップなどの防災情報をご覧いただけます。



風が強いとき

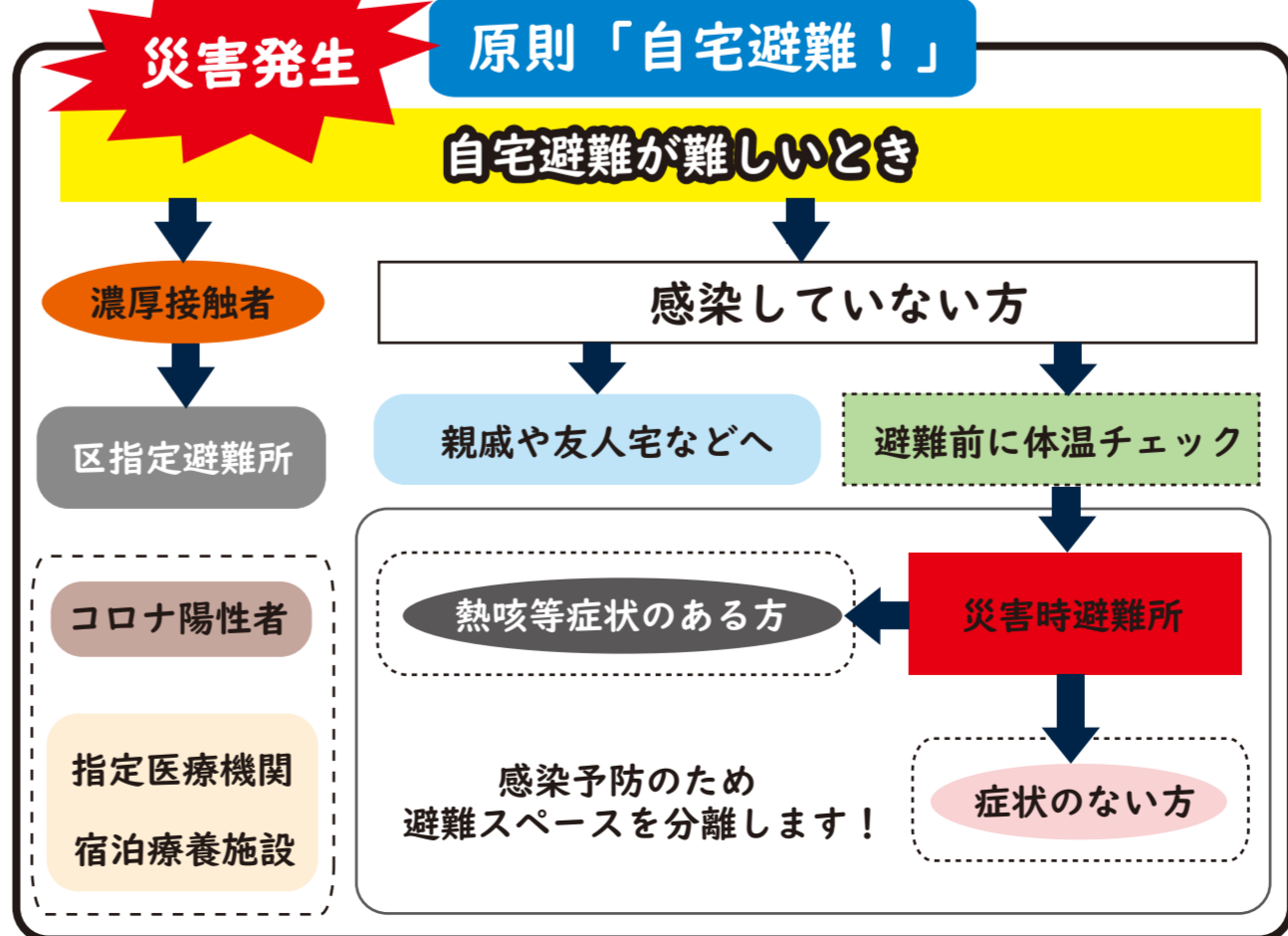
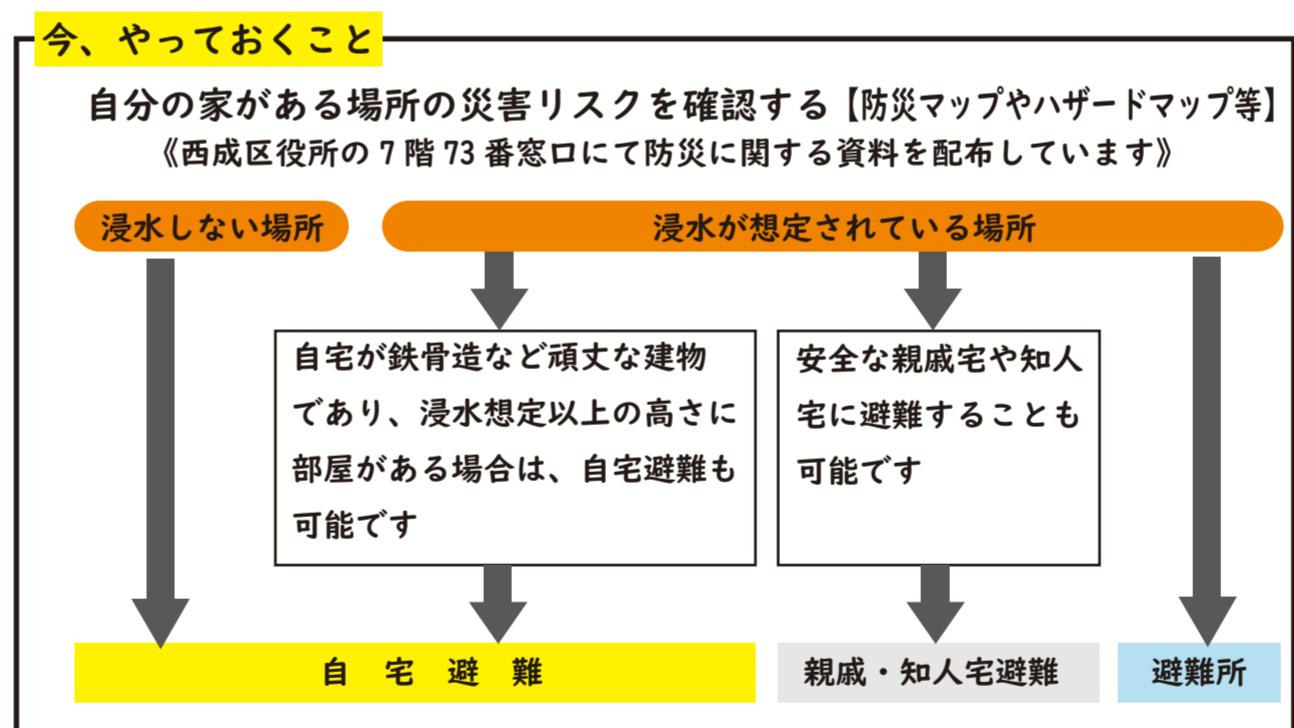
- 路上にいるとき**
強風で瓦や看板が飛んだり、街路樹などが倒れたりします。頑丈な建物に避難しましょう
- 屋内にいるとき**
飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。風が強い場合は窓に近づかないようにしましょう
- 海辺にいるとき**
海への転落や高波に巻き込まれたり、大潮の恐れもあり大変危険ですので、速やかに海辺から離れましょう



大雨のとき

- 路上にいるとき**
浸水してきたら近くの3階以上の建物に避難しましょう
- 車を運転しているとき**
視界が悪く、ハンドル操作やブレーキが利かなくなることもありますので運転は控える。また、アンダーパスなど道路冠水の恐れがある場所は通らないようにしましょう
- 川辺にいるとき**
上流の豪雨により、川が急に増水する危険があるので川には近づかないようにしましょう

新型コロナ禍で災害が起きたときに備えて...



風と雨の強さ

風の強さと想定される被害		雨の強さと想定される被害	
平均風速 (m/秒) 予報用語	想定される被害	1時間雨量 (mm) 予報用語	想定される被害
10以上～15未満 やや強い風	傘がさせない	10以上～20未満 やや強い雨	長く続くときは注意が必要
15以上～20未満 強い風	風に向かって歩くことができない	20以上～30未満 激しい雨	側溝などから水があふれることがある
20以上～25未満 非常に強い風	車の運転を続けるのは危険な状態となる	30以上～50未満 激しい雨	マンホールから水があふれることがある
25以上～30未満 非常に強い風	樹木が倒れ始める 瓦が飛び始める	50以上～80未満 非常に激しい雨	地下街に雨水が流れ込むことがある
30以上～ 猛烈な風	屋根が飛ばされるなど、木造住宅が壊れ始める	80以上～ 猛烈な雨	大規模な災害が発生するおそれ強い

水害時の避難情報の伝え方

警戒レベルで避難のタイミングをお伝えします	
警戒レベル	災害発生
5	すでに災害が発生している状況 命を守るための最善の行動をとる
4	全員避難！ 速やかに避難する 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難する
3	高齢者等避難！ その他の人は避難準備 避難に時間を要する人(高齢な方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難する、その他の人は避難の準備を整える
2	避難行動の確認 避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認する
1	心構えを高める 災害への心構えを高める

※いつでも避難できるよう事前に準備をしておく

避難生活のために

●避難者の心得



受付をする

家族の名前や住所を受付にて記入する
介助や医療の必要な方は申し出る

周りの方への心配りをしましょう

お互いを思いやり、困っている人がいたら助け合しましょう

飲食料について

避難所で飲料水の配布や、応急給水の拠点が開設されます
避難所でアルファ化米や乾パンなどが配布されます
自宅避難者や避難所に来ることが困難な方もいますので助け合しましょう

生活のルールや役割分担を決め、ルールを守りましょう

地域の方を中心に避難所を運営します。役割を決めて、みんなで決めたルールを守り「自分たちのことは自分たちで」を基本に協力して生活をしましょう

ペットについて

避難所にペットを連れてくる場合は、ペット用品やケージまたはリードに繋ぎ、避難所では糞尿の掃除を必ず行うこと

食中毒や感染症を防ぐ

災害後は衛生環境が悪化し、感染症などが発生します。食事や調理をするときは手洗いをするか消毒液などで手をきれいにしましょう